

第2句集「寒椿」を出版した
中村照子さん（中央町・80歳）

中央町の中村照子さんが、2冊目となる句集「寒椿」を自费出版しました。平成14年10月に第1句集「浦里」を出版してから4年半ぶりの出版となります。中村さんの作品は「笛太鼓遠のきかくて祭終え」汲みおきの桶に浮きけり初紅葉「厚切りの大根炊けば暮れの鐘」など、日常生活の中にも季節感あふれる句が詠まれており、第2句集には197句が収められています。中村さんが俳句を始めたのは、9年ほど前。白内障を患い、手

術のため入院した中村さんと偶然同室だった女性に勧められ、俳句を教わったのがきっかけでした。その後俳誌「屋根の会」に入会、主宰の斎藤夏風さんに教えを受けながら句を作り続けてきました。「俳句は、限られた17文字の中で気持ちを表現できることがとても素晴らしいと思います。逆にどれだけ長く書いても伝わらないこともありますから。俳句に出会えたことは、運の良さ

日常生活の情感詠んだ197句

句の魅力をうれしそうに語る中村さん。傘寿を迎えた中村さんは、現在一人暮らし。家事などはすべて自分で行っています。「秋田にいる息子の家に世話になったこともありすが、何もしないで過ごしているのはわたしには合わず、すぐに山田に帰ってきてしまいました。一人で暮らすのは辛いことも大変なこともありますけど、わたしにとつてはそれが生きているという実感になりますし、何よりボケ防止になりますからね。なるべく頭と手は動かすようにしています」と3冊目の出版に向け、意欲満々です。

第1句集「浦里」、第2句集「寒椿」
を手に笑顔を見せる中村照子さん



行政相談委員に 佐々木さんと山崎さん

任期は4月1日から2年間



行政相談委員
山崎郁子さん



行政相談委員
佐々木睦美さん

行政相談委員に佐々木睦美さん（長崎・64）と山崎郁子さん（田の浜・62）が委嘱されました。任期は4月1日から2年間です。行政相談委員は総務大臣から委嘱を受け、町民の皆さんから苦情や相談などを受け付け、助言や関係機関への通知などを行うのが主な業務で、無報酬で活動しています。相談は月に一度の行政相談のほか、手紙や電話などで随時受け付けています。相談に関する費用は無料で、相談者の秘密は堅く守られます。行政の仕事などで納得できないことや困っていることがござ

いましたら、お気軽にご相談ください。

◆住所と電話番号 ▼佐々木睦美（〒028-1351山田町長崎三丁目1-28 ☎82-646） ▼山崎郁子（〒028-1371山田町船越11-2 ☎84-3949）

行政相談開かれます

◆日時 5月25日（金）
午前10時〜正午

◆場所 町中央コミュニティセンター

◆問い合わせ 役場住民生活課
住民相談担当（☎82-3111
1内線128）へどうぞ。